

青工研かわら版 4 ^{vol 3}月号



第2ブロック 決起大会

今年のテーマ 己に克て！



ブロック長：丹羽勇介（株式会社 勇工業）

なりたい己や自社があるけれど、「なかなか行動出来ない」または「忙しい」などで、やらない理由にいつも負けていました。だからこそ自分に克ち、なりたい己や自社を実現する為に、「己に克て！」というテーマに決めました。

決起大会にける想い

一人だけだと、どうしても克てない時があります。しかし、そんな時に仲間が居て、お互いに鼓舞する事が出来れば、己に克つ事が出来ます。その為にも、決起大会で仲間を想いながら、フォトフレームに「己に克て！」を刻み合い、仲間としてスタートを切る機会にしたい。そして、決起大会で宣言した目標をやり遂げて欲しいと思っています。

決起大会の状況



開催日 2022年4月20日
時間 19:30～21:10
開催場所 あじさい会館

南会長挨拶

決起というのは、一年間行っていく目標を自分の心にアンカーを打つ事です。一年間で達成するというアンカーを強く持ち、12月まで全員で走り切ってください。（要約）

ブロック長挨拶

これまでの3カ月間の準備ブロック会を経て、決起を迎えられたのは皆様のおかげです。ありがとうございます。皆さんが想う「己に克て！」を、思う存分皆さんの前でぶつけて頂いて、一年間価値のあるブロックにして、皆さんが目標を成し遂げて貰えればと思います。（要約）

己に克つ宣言

ブロック員それぞれが、「1年後になりたい自社と己」、「3年から5年後になりたい自社と己」または「将来になりたい己」について、ブロック員の前で発表する事で、覚悟を決めました。仲間の前で宣言したからこそ、己に克ち、目標達成に向かっていきます。



フォトフレームに「想いを刻む」

「己に克て！」をフォトフレームに想いを刻み込んでいきました。全員で廻しながらお互いに「己に克て！」を刻み合う事で高い目標の達成へ、そして仲間と強い想いを共有する事で結束力が高まります。

全員が真剣に刻み合い、お互いに鼓舞し合っているように見えました。



記念撮影

お互いに想いを込めて刻んだフォトフレームを持って、記念撮影をしました。各自の充実した表情から「己に克つ！」一年が過ごせる勢いを感じました。



決起大会 終了後

記念撮影した写真を各自フォトフレームに入れて、いつでも「己に克つ！」気持ちを忘れないように、机の上に飾り、決意を持ち続けます。



上林副ブロック長から 決起の感想

決起本番は皆が厳かな雰囲気の中、熱い想いを出せる場作りが出来たと感じています。特に、己に克つ宣言の発表時には、各ブロック員が未来の己・自社について深く考えて発表している姿に刺激を受けて、私も負けずにもっと深く己・自社について考えようと感じました。

良い決起となりましたが、決起の準備段階で、通常総会・総会懇親会の実行委員長としての任務があり、ブロック長にも気を遣わせてしまいました。申し訳無いという気持ちが大きいです。

決起の前に今後は副ブロック長として、本腰を入れてブロック長を支えていきたいです。

丹羽ブロック長から 決起大会を終えて

決起大会を終えた率直な感想

自分の想定していなかった事が沢山起こり、自分の事前準備、周りへの連絡など、色々な事を想定する力が足りませんでした。しかし、自分が決起大会でイメージしていた「厳かな雰囲気」で進める事が出来、皆さん集中して取り組めたと思います。

皆さんの「己に克つ宣言」の発表を聞きながら、皆さんの覚悟を感じ、私自身の気持ちの高まりを感じました。

今後改善していきたい事

第2ブロックの最初となる大事な決起大会でイメージの深掘がまだまだ甘く、進行の不備やブロック員への配慮、コミュニケーション不足、時間配分など色々な課題点が見つかりました。ブロック長として深く反省し、次のブロック会以降には同じ失敗が無いようにしっかりと考え、繋げて行きます。

記者としての感想

記者：波多野佑典

今回の決起大会にはブロック員として、また記者として参加しました。己に克つ宣言では、将来になるべき己について各自が自身・自社について深く考えて準備してきたものを発表しました。その発表にはそれぞれのブロック員の個性や置かれている立場から様々な想いを感じながら見守りました。また、アクリルフォトフレームに真剣に想いをのせて刻みこむ姿に、全員が己に克ち、一年後に目標を達成するという決意を感じました。

新入会員紹介



氏名：田邊 直人（たなべ なおと）

会社名：小林工塗株式会社

役職：執行役員 営業部部长

所属：第2ブロック（丹羽ブロック）

入会：2022年4月

コメント：初めまして。田邊直人です。

弊社は緑区町屋で金属塗装を行っている会社です。

皆様と共に切磋琢磨し合い学びながら、自身・自社の飛躍に繋げていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願いいたします。